

太陽光発電用ハイブリッド蓄電システム

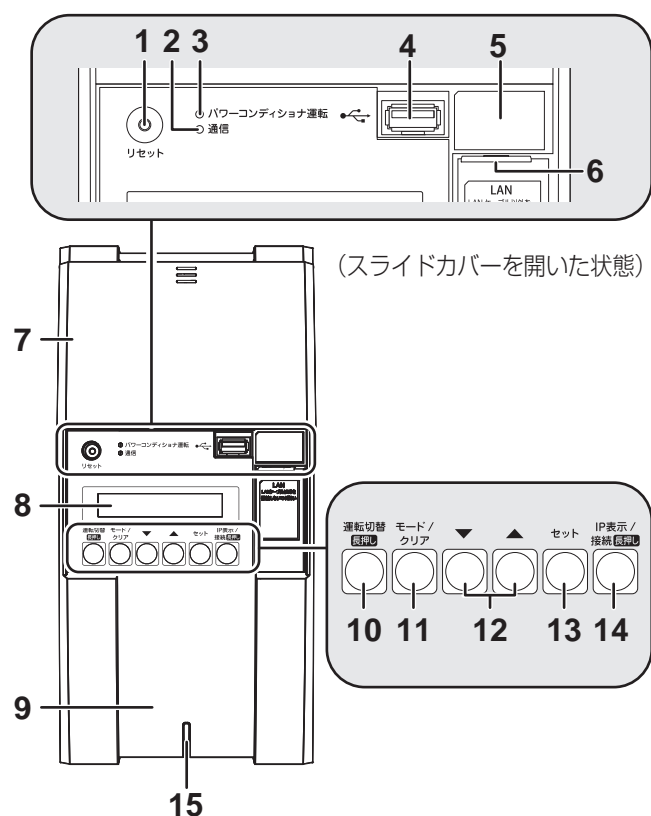
停電時の使い方（自立運転モードの使い方）

本紙は停電時のシステムの機能および使用方法を説明しています。安全にお使いいただくために、本紙とあわせて、取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」を必ずお読みください。

停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、自動で連系運転から自立運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。自立運転に切り替わると、特定負荷用分電盤に接続している電気製品やコンセントに太陽電池が発電した電力または蓄電池ユニットに蓄えた電力が供給されます。

各部の名前と働き

計測・操作ユニット



(スライドカバーを開いた状態)

- リセットスイッチ**
計測・操作ユニットを再起動します。
- 通信ランプ**
計測・操作ユニットの無線通信状態を表示します。
 - －緑色点灯：専用表示ユニットと無線通信可能な状態
 - －橙色点灯：無線 LAN ルータと無線通信中
 - －橙色点滅：無線 LAN ルータと正しく無線通信できていない状態
- パワーコンディショナ運転ランプ**
パワーコンディショナの運転状態を表示します。
 - －緑色点灯：連系運転中
 - －橙色点灯：自立運転中
 - －赤色点灯：運転停止中
 - －消灯：パワーコンディショナが無応答時
- USB コネクタ (Type A)**
計測・操作ユニットのソフトウェアを手動で更新する場合や実績データを CSV 形式で保存する場合に使用します。
- SSID、セキュリティキー (パスワード)、有線 MAC アドレス、無線 MAC アドレス**

```
SSID:*****
Key:*****
有線 MAC Address:
*****
無線 MAC Address:
*****
```

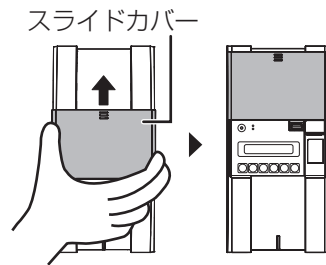
* 部分には、機器固有の英数字が記載されています。
- LAN ポート**
計測・操作ユニットと有線 LAN ルータ間を LAN ケーブルで接続する場合に使用します。

停電時の使い方（自立運転への自動切り替え）（つづき）

7 スライドカバー

スライドカバーを矢印の方向にスライドさせてください。

- 表示部の確認や操作が終わったら、スライドカバーは必ず閉めてください。



8 表示部

発電電力やエラーコード、接続されているパワーコンディショナの運転状態などを表示します。

9 フロントカバー

10 運転切替ボタン

短押し：運転切替についての説明を表示します。

長押し：システムの運転状態 / 停止状態を切り替えます。

11 モード / クリアボタン

表示部の表示内容の切り替えとキャンセル操作に使用します。

12 ▼ / ▲ボタン

表示中の項目の選択に使用します。

13 セットボタン

表示中の項目の決定に使用します。

14 IP 表示 / 接続ボタン

短押し：計測・操作ユニットの IP アドレスなどの情報を表示します。

長押し： **ネットワーク構成A**

計測・操作ユニットと無線 LAN ルータをかんたん無線接続で接続します。

ネットワーク構成B

計測・操作ユニットと専用表示ユニットをかんたん無線接続で接続します。

15 状態表示ランプ

計測・操作ユニットの動作状態を表示します。

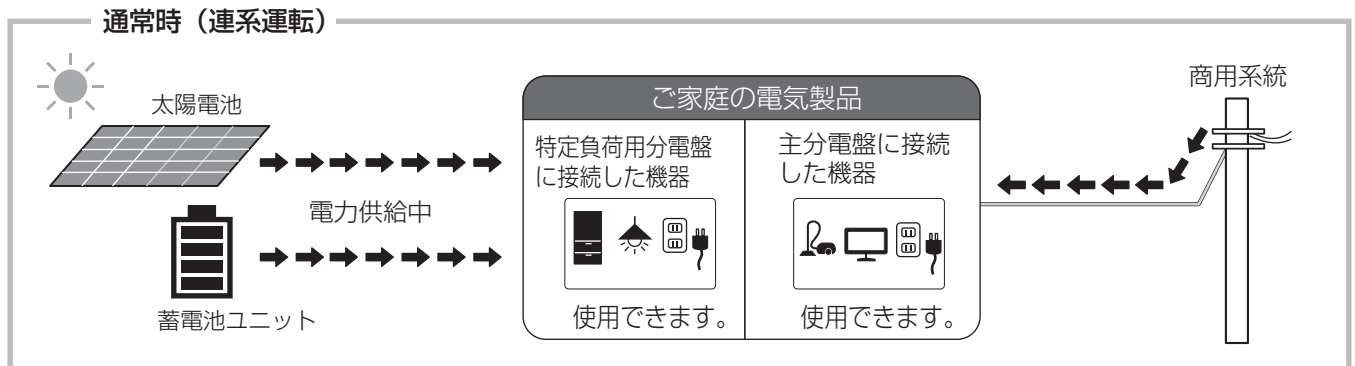
- 緑色点灯： 通常動作中
- 緑色点滅： 初期設定完了前
- 橙色点滅： 特定負荷用分電盤から電源供給されていない状態
- 赤色点灯・点滅： 異常状態
- 消灯： 電源供給されていない状態

停電時の使い方（自立運転への自動切り替え）

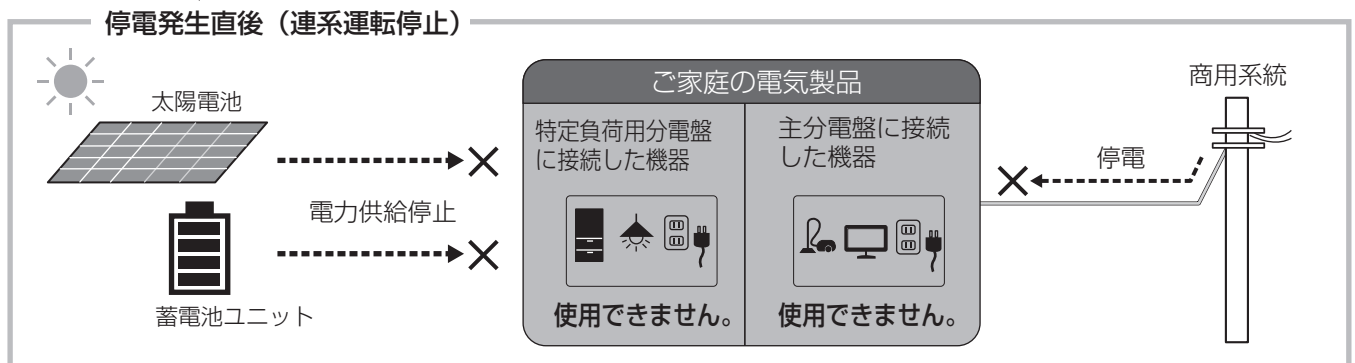
停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、自動で連系運転から自立運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。（計測・操作ユニットの表示部に「ジリツウンテンチュウ」が表示され、自立運転に切り替わっているか確認してください。）自立運転に切り替わると、特定負荷用分電盤に接続している電気製品やコンセントに太陽電池が発電した電力または蓄電池ユニットに蓄えた電力が供給されます。

- 停電時に使用する電気製品やコンセント（特定負荷用分電盤につながっている電気製品やコンセント）は通常時から確認しておいてください。

（下記はイメージ図です）

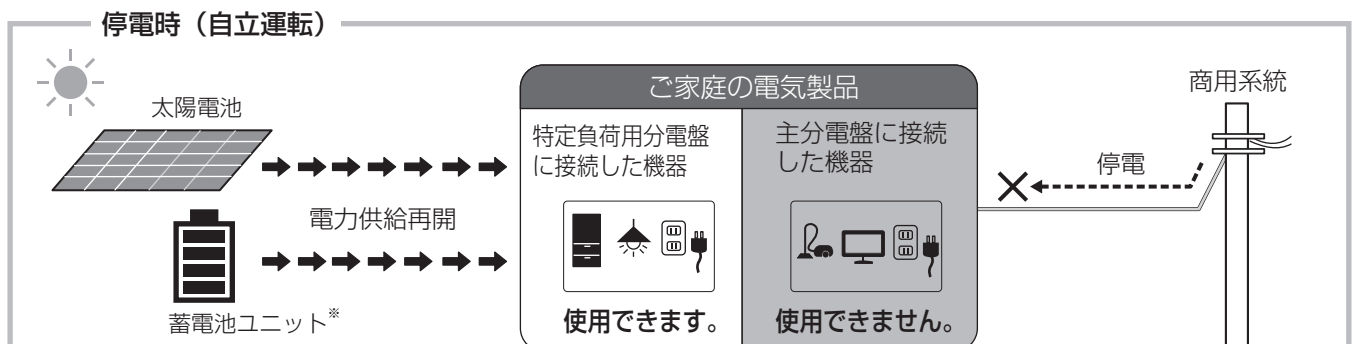


停電発生



約 5 秒後に自動で自立運転に切り替わる

お客様の操作は必要ありません。



計測・操作ユニットの表示部に「ジリツウンテンチュウ」が表示されていることを確認してください。

※ 蓄電池ユニットの過放電防止のため、停電時には規定の蓄電残量になると放電を停止します。規定値以上まで充電を行うと、放電を再開します。蓄電池の劣化状態により、放電を停止する蓄電残量の規定値は 9～24%（新品時 9%）の間で変動するため、SOC 下限設定を 0%、10%、20% に設定すると、停電時に電気をすぐに使用できない場合があります。停電時に電気を使用したい場合は、SOC 下限設定を 30% 以上に設定いただくことを推奨します。

- 太陽光発電の発電電力によって電気の流れが異なります。（⇒ 取扱説明書（システム編））

停電時の使い方（自立運転への自動切り替え）（つづき）

■ 停電時に蓄電池ユニットの残量を確認するには

計測・操作ユニットから残量を確認する場合は以下の操作を行ってください。

- 1 計測・操作ユニットのスライドカバーを開ける（⇒ 2）
- 2 計測・操作ユニットのセットボタンを押して表示部を点灯させる
- 3 計測・操作ユニットの▼/▲ボタンで表示を切り替える

チクデン (SOC) *
50%

■ 停電時に使用する場合のご注意

- 特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントには、突然停止しても安全性に問題がない電気製品を接続してください。下記の電気製品は特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントに接続しないでください。
 - －すべての医療機器
 - －灯油やガスを用いる冷暖房機器やヒータを持つ機器
 - －デスクトップパソコンなどのバッテリーを持たない情報機器
 - －その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器
- 特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントに接続している電気製品の合計消費電力は、1500VA 以下（AC 100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。（計測・操作ユニットの表示部で合計消費電力を確認できます）
- 太陽光発電の発電量や蓄電池ユニットの残量等により 1500VA の電力が供給されない場合があります。
- 電気製品によっては定格のワット数 (W) 以上の電力 (VA) を消費するものがあります。そのため、定格のワット数 (W) が「1500」以下であっても使えない場合があります。

特定負荷用分電盤または特定負荷用コンセントに接続する電気製品を安定してお使いいただくため、また停電時により長い時間お使いいただくため、接続する電気製品の合計電力 (W) は 500W 程度に抑えることをお勧めします。

- 停電時に万一、特定負荷用コンセントに接続した電気製品が使えない場合は、特定負荷用コンセントから外してください。
- 停電時に万一、特定負荷用分電盤に接続した電気製品が使えない場合は、電気製品が接続されている分岐ブレーカを「オフ」にしてください。

■ 特定負荷用分電盤の合計消費電力を確認するには

- 1 計測・操作ユニットのスライドカバーを開ける（⇒ 2）
- 2 計測・操作ユニットのセットボタンを押して表示部を点灯させる
- 3 計測・操作ユニットの▼/▲ボタンで表示を切り替える

デンリョク (ショウヒ) *
5.4 kW

停電時の使い方（自立運転への自動切り替え）（つづき）

■ 自立運転を停止させるには

計測・操作ユニットの運転切替ボタンを2秒以上押し続けてください。自立運転が停止します。再度運転切替ボタンを2秒以上押し続けると、自立運転を再開します。

- 運転切替ボタンは、メイン画面（⇒取扱説明書（システム編））表示中に押し続けてください。エラーコードやメニュー画面表示中は操作できません。
- 自立運転の停止中に復電した場合は、自動で連系運転に切り替わりません。運転切替ボタンを2秒以上押し続けて連系運転に切り替えてください。

■ 自立運転が自動的に停止した場合は

掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いて運転が停止することがあります。運転が停止した場合は、特定負荷用分電盤に接続している機器の一部を停止し、消費電力を少なくしてください。数分後に自動で自立運転を再開します。

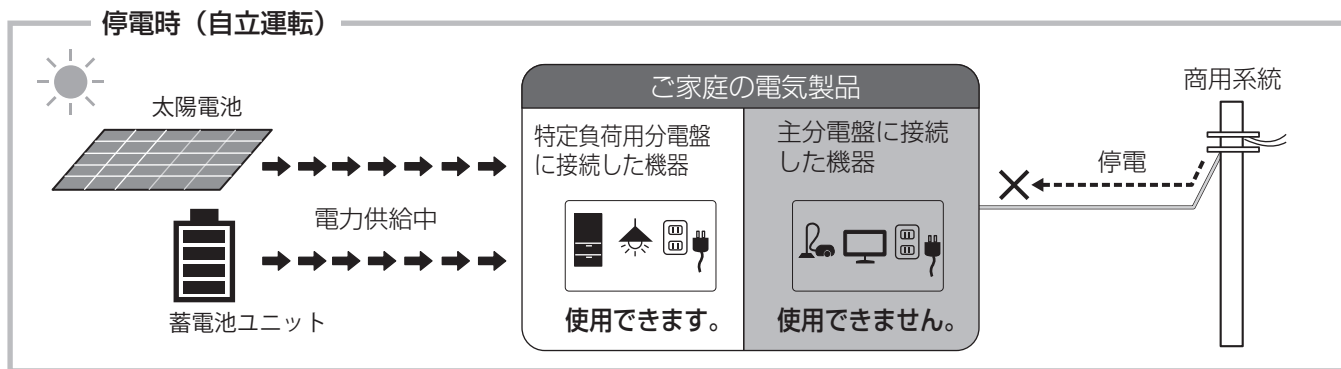
- 運転切替ボタンは、メイン画面（⇒取扱説明書（システム編））表示中に押し続けてください。エラーコードやメニュー画面表示中は操作できません。
- 自動で自立運転を再開しない場合は、以下の手順で再開してください。
 - 1 計測・操作ユニットの運転切替ボタンを2秒以上押し続ける
 - 2 再度、運転切替ボタンを2秒以上押し続ける

復電時には（連系運転への自動切り替え）

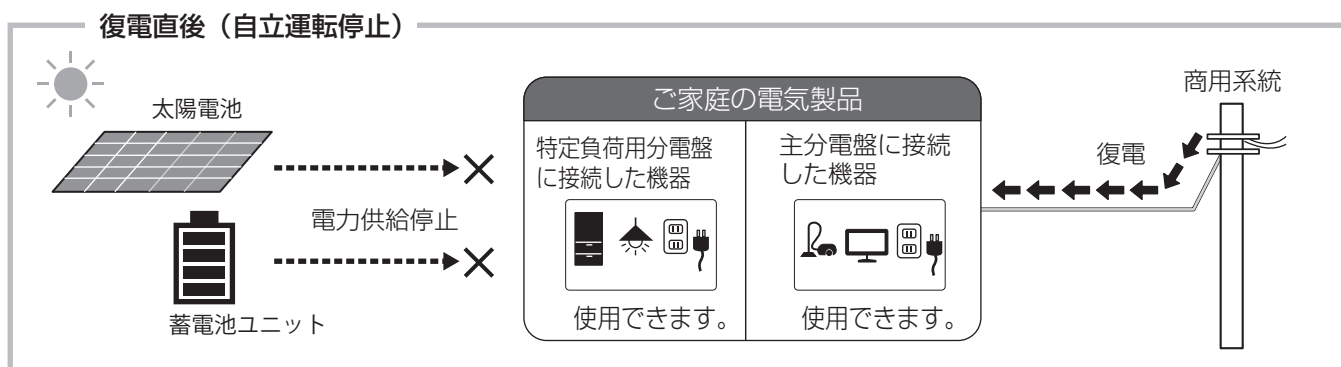
復電すると自動で自立運転から連系運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。（計測・操作ユニットの表示部に「レンケイウンテンチュウ」が表示され、連系運転に切り替わっているか確認してください。）

- 計測・操作ユニットの表示部に「シュドウフッキマチ」と表示されている場合は、連系運転への切り替え操作が必要です。（⇒ 取扱説明書（システム編））

（下記はイメージ図です）

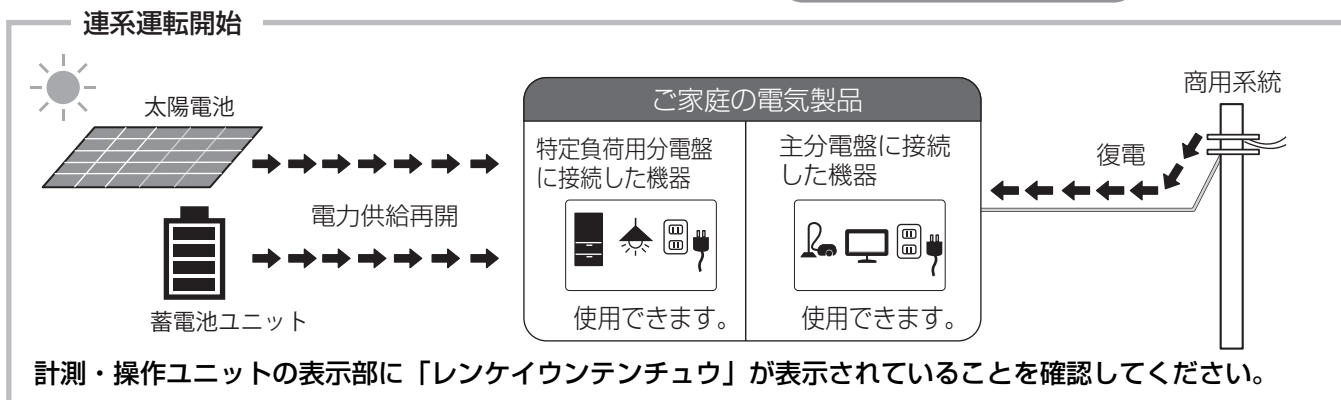


復電



最大5分程度で自動的に
連系運転に切り替わります

お客様の操作は
必要ありません。

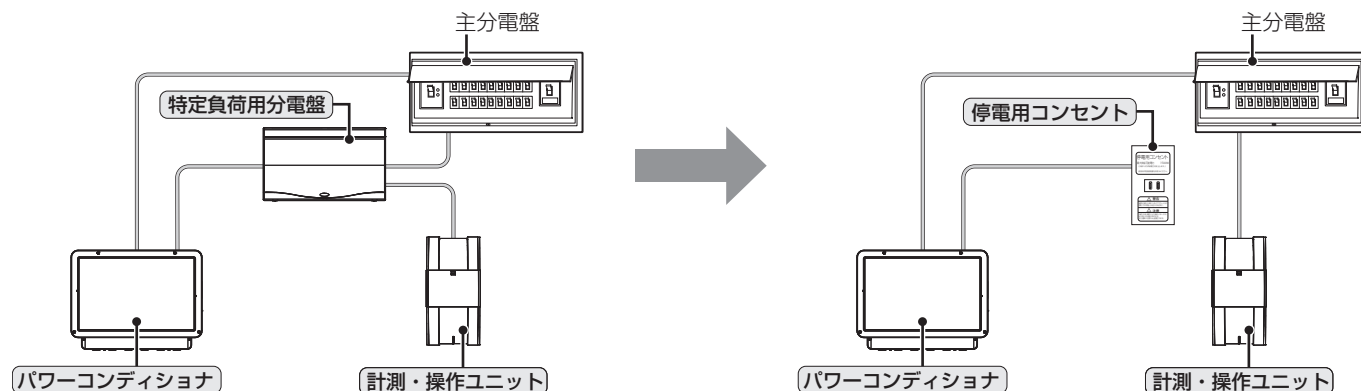


特定負荷用分電盤を使用しないシステムについて

本書は主に特定負荷用分電盤を含むシステムについて説明しています。
特定負荷用分電盤を含まないシステムの場合は下記をお読みください。

■ システム構成について

取扱説明書（システム編）「システム構成と各機器の働き」のパワーコンディショナと特定負荷用分電盤を下図に読み替えてください。



■ 家庭内の電気の流れについて

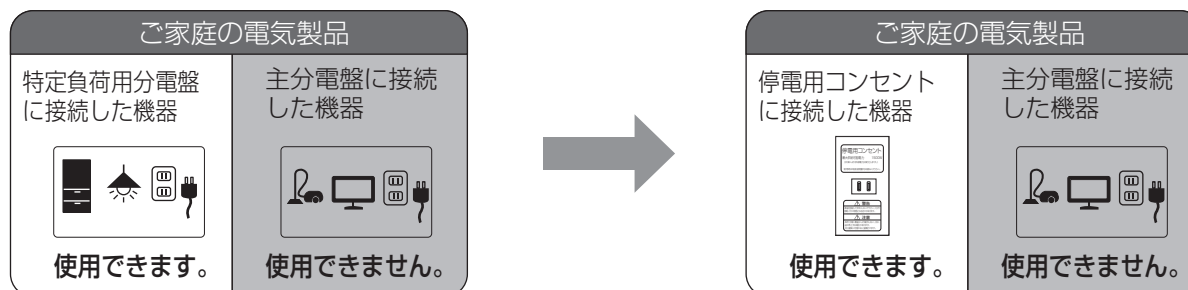
- 1 連系運転時は停電用コンセントに電力供給されません。（太陽電池、蓄電池ユニットおよび商用系統からの電気の流れは、特定負荷用分電盤を含むシステムと含まないシステムで同じです。）

取扱説明書（システム編）「連系運転について」と取扱説明書（専用表示ユニット編）「蓄電池ユニットを強制放電 / 強制充電する」に記載している「ご家庭の電気製品」を下図に読み替えてください。



- 2 自立運転時は停電用コンセントに接続した電気製品に電力が供給されます。

取扱説明書（システム編）「自立運転について」に記載している「ご家庭の電気製品」を下図に読み替えてください。



特定負荷用分電盤を使用しないシステムについて（つづき）

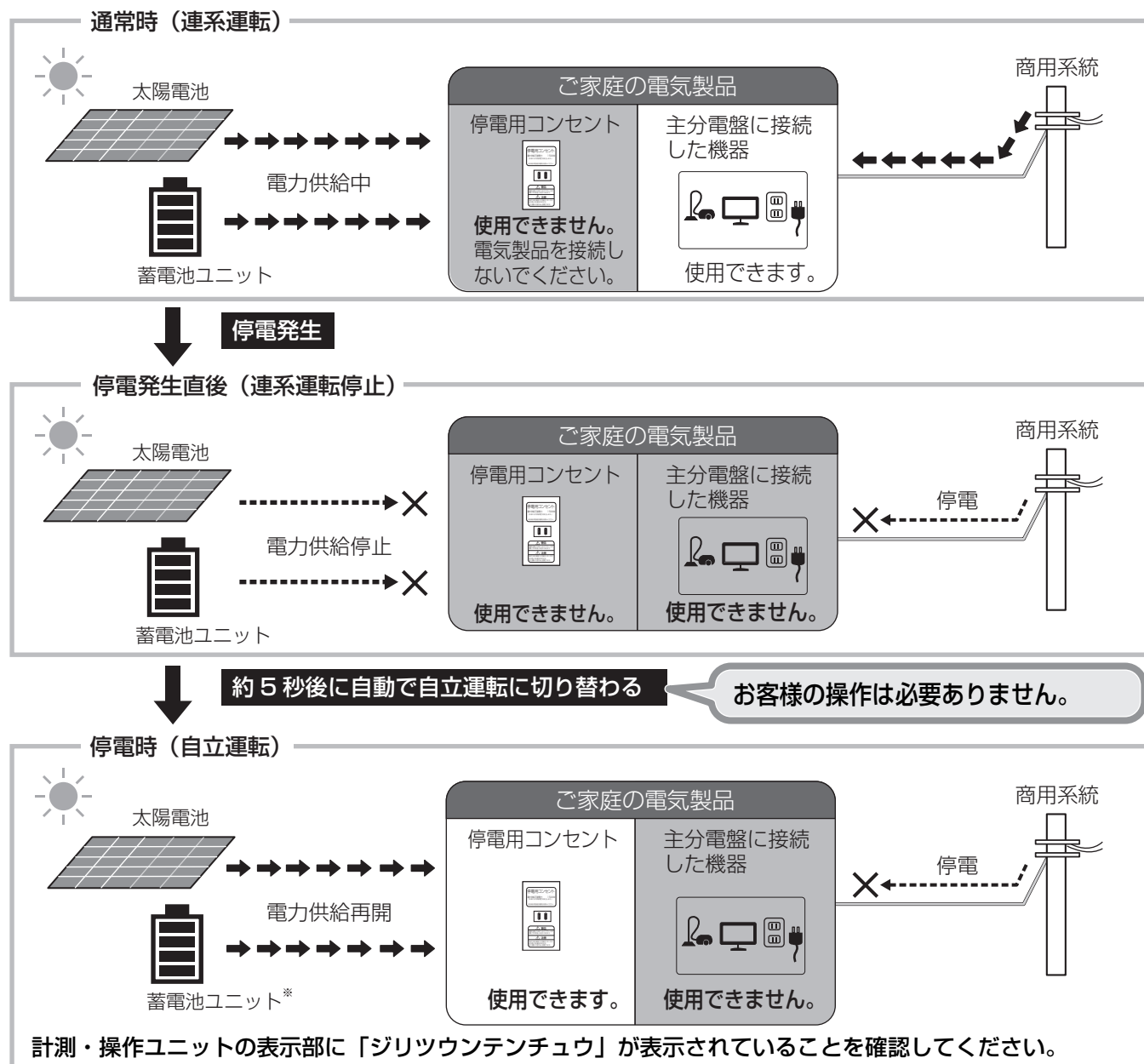
●停電時の使い方（自立運転への自動切り替え）

停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、自動で連系運転から自立運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。（計測・操作ユニットの表示部に「ジリツウンテンチュウ」が表示され、自立運転に切り替わっているか確認してください。）自立運転に切り替わると、停電用コンセントに太陽電池が発電した電力または蓄電池ユニットに蓄えた電力が供給されます。

- 停電発生後、停電用コンセントに、使用したい電気製品を接続してください。

通常時（連系運転）、停電用コンセントに電気製品を接続していると、電気製品が故障する可能性があります。

（下記はイメージ図です）



※ 蓄電池ユニットの過放電防止のため、停電時においては規定の蓄電残量になると放電を停止します。規定値以上まで充電を行うと、放電を再開します。蓄電池の劣化状態により、放電を停止する蓄電残量の規定値は 9～24%（新品時 9%）の間で変動するため、SOC 下限設定を 0%、10%、20% に設定すると、停電時に電気をすぐに使用できない場合があります。停電時に電気を使用したい場合は、SOC 下限設定を 30% 以上に設定いただくことを推奨します。

- 停電用コンセントに接続する電気製品の合計消費電力は、1500VA 以下（AC 100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。
- 太陽光発電の発電電力によって電気の流れが異なります。（⇒ 取扱説明書（システム編））

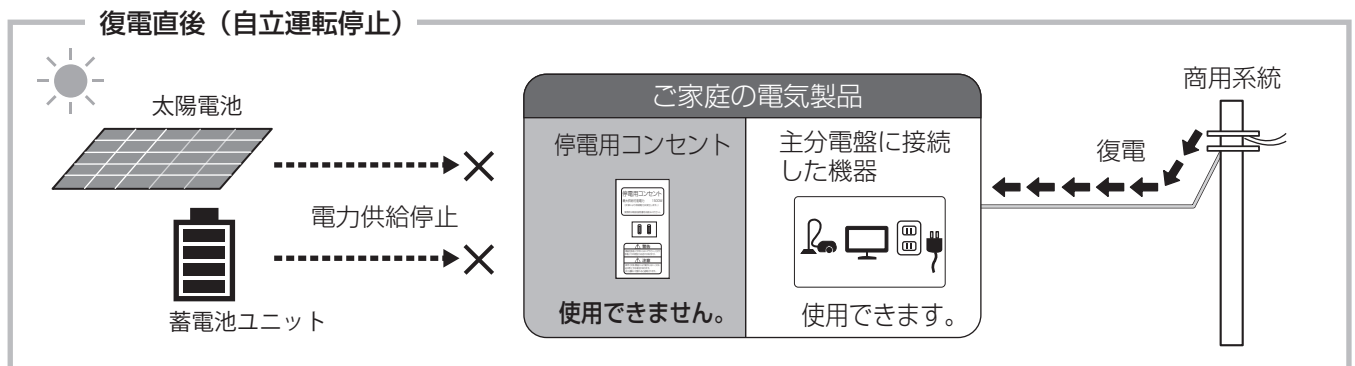
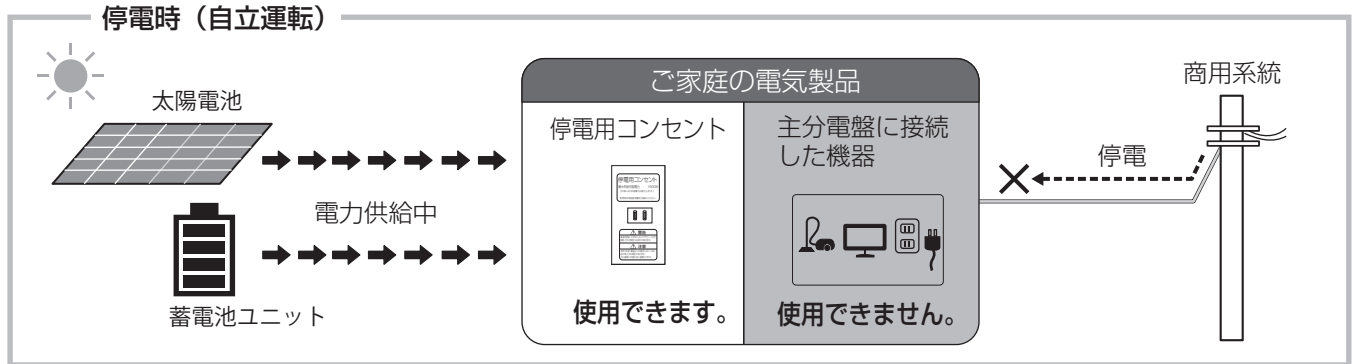
特定負荷用分電盤を使用しないシステムについて（つづき）

●復電時には（連系運転への自動切り替え）

復電すると自動で自立運転から連系運転に切り替わるため、お客様での切り替え操作は必要ありません。（計測・操作ユニットの表示部に「レンケイウンテンチュウ」が表示され、連系運転に切り替わっているか確認してください。）

- 停電用コンセントに接続している電気製品を外してください。
- 計測・操作ユニットの表示部に「シュドウフッキマチ」と表示されている場合は、連系運転への切り替え操作が必要です。（⇒ 取扱説明書（システム編））

（下記はイメージ図です）



最大 5 分程度で自動的に連系運転に切り替わります

お客様の操作は必要ありません。

